



貸出しの多かった本はこれだ～！

2024年4月～2025年1月末 中央図書館 ティーンズコーナー 調べ

約10か月間で
貸出し回数20回を超えた
人気の本を紹介するよ！

『54字の物語』が3冊ランキング入り。シリーズ既刊11冊。今回の3冊以外もよく借りられているよ。ティーンズレターVol.30(2015年7月発行)でも紹介した『天久鷹央の推理カルテ1』シリーズは約10年経った今人気急上昇中。2025年2月刊『天久鷹の読心カルテ』(旧版：淡雪の記憶)も併せてどうぞ。『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』単行本は文庫本未収録の短編が収録されているので要チェック！

- 1位 『宝石喰いの悪女』 三萩 せんや/著 双葉社
- 2位 『准教授・高槻章良の推察 10』 澤村 御影/著 KADOKAWA
- 2位 『54字の物語11』 氏田 雄介/編著 武田 侑大/絵 PHP研究所
- 4位 『龍神と許嫁の赤い花印 4』 クレハ/著 スターツ出版
- 4位 『時ひらく』 辻村 深月・伊坂 幸太郎・阿川 佐和子・恩田 陸・柚木 麻子・東野 圭吾/著 文藝春秋
- 4位 『伝わることば探し辞典』 三省堂編修所/編 三省堂
- 7位 『天久鷹央の推理カルテ 1』 知念 実希人/著 新潮社
- 7位 『大正あやかし契約婚 ～帝都ものけ屋敷と異能の花嫁～』 湊 祥/著 アルファポリス
- 7位 『地球の歩き方JAPAN ～神秘的国の歩き方～』 地球の歩き方
- 7位 『54字の物語X』 氏田 雄介/作 武田 侑大/絵 PHP研究所
- 7位 『54字の物語∞』 氏田 雄介/作 武田 侑大/絵 PHP研究所
- 7位 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見 夏衛/著 スターツ出版
- 7位 『君を守ろうとする猫の話』 夏川 草介/著 小学館



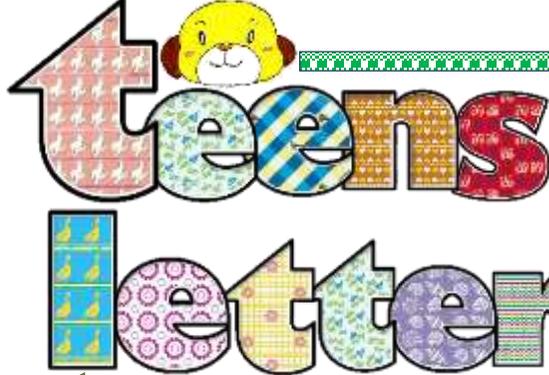
編集後記 ティーンズレター第59号はいかがでしたか？次回夏頃にお会いしましょう♪

最近、新刊が水濡れや、染みがついた状態で返却されることが増えて悲しいです。もっと多くの人に読んでほしいので、図書館の本は丁寧に扱ってくださいね。(お風呂で読んじゃ駄目よ。)ちなみに『天久鷹央の推理カルテ1』の貸出回数は10年で約170回！すごいです。大切に読んでくれてありがとう。(ココ)

児童文学作家の中でも新美南吉・浜田寛介・あまんきみこは特別お気に入り！家の本棚にも置いていて、折に触れては読み直し…おもちの心の一部を作ってくれた、大切な物語がたくさんあります。(おもち)

自分が中高生の頃は小説ばかり読んでいて、最近ようやく実用書やノンフィクションの良さに気づき始めました。特にティーンズフロアの本は、もっと早く出会いたかった本ばかり…！(あくあ)

2025年3月発行



習志野市立中央図書館
 習志野市本大久保 3-8-19
 TEL:047-475-3213
 ホームページ
<https://www.narashino-lib.jp>



ティーンズレター
VOL.59



2025年もヨロシク！

TEENS CORNER BOOK NAVI

これを読め♡

3月恒例「これを読め♡」
2024年にティーンズコーナーに
仲間入した本の中から担当者
イチオシの本をご紹介します！

『ごんぎつね でんでんむしのかなしみ 新美南吉傑作選』

新美 南吉／著 新潮社

結核で29歳という若さで生涯を終えるまで精力的に丁寧に紡がれてきた物語の数々は、何十年経った今でも色あせることはありません。そのなかでも心の琴線に触れる11の傑作童話と6編の詩を収録。温かく切ないお話と共々、ほっと一息つきませんか。



『卒業のための犯罪プラン』 浅瀬 明／著 宝島社

今の日本には技術を金につなげる人間が足りない。商売人を育成するべく設立された木津庭特殊商科大学、通称“庭大”。ここでは労働や事業で手に入る学校内限定通貨“ポイント”がいかに多いかが評価対象であり、そのポイントは家賃・学食の支払いや単位の売買にも使うことができる。家庭の都合で残り半年で卒業しなければいけなくなった2年の降町はうまくいけば大量のポイントを得られる情報を手に入れる…。



『おしごとそうだんセンター』 ヨシタケ シンスケ／著 集英社

地球で生活するために必要な「しごと」を探しに「おしごとそうだんセンター」へやってきた記憶喪失中の宇宙人。そもそも「しごと」って何だろう？どんな「しごと」があるのかな？ヨシタケシンスケワールドのくすくすと笑えるめずらしいおしごとを宇宙人と職員さんと一緒に見てみましょう。かわいいイラストにほんわかしつつ、みなさんも働くことについてじっくりと考えてみませんか？



『君に伝えたい「本当にやりたいこと」の発見かた』

池上 彰／監修 KADOKAWA

自分が10年後どんな風に生きているのか、想像できますか？想像できないという君も、この本を読めば未来の自分に一歩近づけるかもしれません。人生をかけた「本当にやりたいこと」探しに、ぜひティーンズコーナーの進路・仕事コーナーの本もお役立てください！



『ひとり暮らしスタートガイドブック』

河野 真希／監修 坂本 綾子／監修
国崎 信江／監修 ナツメ社

『ひとり暮らしを楽しむお部屋図鑑』

MdN編集部／編
エムティエヌコーポレーション

初めてひとり暮らしをするけれど、何からすべきか分からず右往左往している人におすすめ。まずは一通り目を通して引っ越しの流れの確認と、どんなお部屋にしたいかの妄想をしましょう。現実には厳しいもの、こんなはずでは…(ノ口)ツツ…とならないためにも準備はしっかりとね！



『箱庭世界』

パイインターナショナル／編著 パイインターナショナル

箱庭は、小さいけれど立派な一つの世界。この世界の住人はどんな暮らしをしているだろうか。自分がその世界に住んでいたら何をしたいだろうか。国内外のクリエイター総勢26名が描く箱庭世界は、見るだけでうっとり空想に浸りたくなります。



『小さなラテン語図鑑』 中澤 務／監修 三オブックス

ラテン語：古代ローマで使われていた言語。現在でも、学術用語に用いられている。(『例解新国語辞典』林 四郎／監修 三省堂)

フランス語やスペイン語のルーツであり、実は日本のカタカナ語になっているものも。普段よく聞くたくさんの英単語もラテン語がもとになっているものがあります。ラテン語入門にぴったりの一冊。特に「ハリーポッター」シリーズが好きなお人々にはおすすめ。ラテン語が由来となった魔法の呪文や人物の名前があるんですよ。



『ハンな信号機』 丹羽 拳士朗／著 イカロス出版

車両用信号機は青・黄・赤の3灯式、歩行者用信号機は縦型の2灯式、形はどれも同じ。全国各地のハンな信号機を求め旅してきた著者がそんな常識と固定概念を吹き飛ばします！ヴィンテージものから、文字灯器、ちょっとおしゃれなデザイン信号機などを集めたとにかくマニアックな1冊。アトム歩行者用信号機…実物を見てみたい…。

